

きせつにたの調査

村上 晴彦

登場人物

目多留 鍛造（めたるたんぞう）

目多留 ため（鍛造の妻）

目多留 巧人（めたるこうと・鍛造とための息子）

目多留 玲愛（めたるれあ・鍛造とための娘）

調査員・畑良（はたら）

調査員・木方（きかた）

「日本人は働き過ぎ」と言われたのも今は昔、世の中すっかり働き方改革。定時退庁、残業時間の上限設定、在宅テレワーク、時差BIZと、かけ声ばかりやたら美しい。叫ぶは所詮お上ばかりか。ここにその恩恵から取り残されたかのような、小さな町工場がありましたとき。

古い板もしくはトタン張りの内装。奥にはたぶん住居へと続く扉とその横に金属製のロッカー。埃をかぶった旋盤やドリルなど、やや旧式の機械類。傍らに、社長の鍛造が手作りっぽい木箱に座り、ボールに山と積まれたネジを一つ一つつまみあげては不良品をはねている。隅っこにはこれまたくたびれた事務机があり、鍛造の妻・ためが机上のパソコンの画面をぼーっと眺めている。

鍛造

（ネジを一個ずつつまんでは見つめ、別のボールに移し替えながら、メロディがあるのかなのか、歌っぽくも聞こえる文句を呟くように口ずさむ。）

♪縁を切るより ネジを切れ

空にかかるは虹の橋 つなぐよ空と大地とを

ネジもつなぐよ 板と板 虹は七色 ネジも七色

虹は一瞬 ネジ百年 螺旋はめぐる 人の輪よ

これは、別に鍛造が歌わなくてもよくて、もっと歌のうまい子がいればその子が歌うメロディが流れてきてもよい。

ため （ソリティアでもしているのか、緩慢にマウスを動かしながら）今日も暇だねええ……。

鍛造 (黙って検品を続ける)

ため 世間じゃもうじきクリスマスだって浮かれてるってのに、うちにはサンタさん来ないのかしら。

鍛造 ま、そんな時もあらあな。

ため これじゃ今月もまた赤字だねえ……。

鍛造 (また一本ネジをつまみ上げ、高くかざしつつ) 七色に輝くレインボー・スクリュー、いい仕事なんだがなー、なんでこれが売れないかな、このナノサイズのコーティング技術は、ちよつとやそつとじゃ真似できねえ結構な職人技だぞ。

ため ネジは締めたら埋もれるもの、そうなたら七色の輝きなんて見えやしないんだからコストかさむだけって、ちよつと考えたらわかるでしょうに。

鍛造 見えないところにまで全力を尽くす、それが職人の意地ってもんよ。

ため 売り物にならないんじゃ、今のうちには何の意味もないでしょ。

鍛造 (ぷいと横を向き、黙って立ち上がる)

ため どこ行くんです？

鍛造 ちよつと営業に行ってくら。

ため 嘘おっしゃい。どうせまたパチンコでも行くつもりでしょ。

鍛造 うるせえな！この主は俺だぞ。どこ行こうが俺の勝手だろうが。

ため そんな暇があるなら、融資先の信用金庫にでも頭下げ行ってくださいよ。

鍛造 お前こそ、呑気にゲームやってる暇があるなら、それ使って営業してみたらいいだろうが！ 何の
ための「いったーねつと」だつてんだ!?

ため 言われなくなっちゃって営業ならちゃんとやっていますよ。(キーボードに入力しながら) このキーボードは私の希望っど! なーんてね。

鍛造 (ディスプレイをのぞきこむ) 「ねじ工場で働く四十代の主婦です。最近夫が冷たいのでちょっと寂しいです。誰かぶつといねじを私に……」て何だこりゃ!? 出会い系じゃないかよ、ため!

ため ちよつと書いてみただけで、アップなんてしませんよこんなの。(大きくため息ひとつ) あーあ、出会った頃の鍛造さんは、それはそれは、それこそ虹のように目をキラキラさせて、私にも優しくかったんだけどなあ……。

鍛造 だから何だよ?

ため あんと結婚したのは、間違いだっただのかな、って気分にもなりますよ。目多留家の嫁になったばかりに、私は上から読んでも下から読んでも「めたるため」、新聞紙みたいな名前になっちゃって。どうせなら、愛野さんとかと結婚してれば、「愛野ため」とかって、美しい名前になってたのになー。

鍛造 何をいまさら……!

ため 「世のため人のため俺の人生はお前のため。だからお前はめたるため!」って、言ってくれたのはいつのことだったかしら?

鍛造 覚えてねえよ、そんな昔の話! (間) 営業はやめた。飯にするぞ、飯!

ため まだ十一時前ですよ。

鍛造 いいんだよ腹減ったから。食べる時に食つとかにや、いざって時にパワー出ないんだ!

ため いざって時ねえ……。冷蔵庫にゆうべの残りの回鍋肉かなんか入ってるからどうぞ御自由に。

鍛造 夫婦なんだからメシの支度くらいしてくれたっていいじゃないかよ、ため。

ため だめです、勤務時間ですから。勤務中の私はあなたの妻である前に工場長ですよ。

鍛造 「ただけにだめ」って、洒落にもなってねえっての。何年一緒にいると思ってんだよ、全く。

景気のいい頃にやこっちが言わなくても食事出してきたもんだがなあ……それがどうでえ、仕事がヒマになつた途端、急に手のひら返しやがって……。 (とぶつぶつ言いながら奥へ消える)

ため 食事だけじゃなく、掃除に洗濯。こっちは昼も夜も二十四時間働きづめで家のために働いてんだから、暇な時くらい家事の手伝いしなさいっての。景気のいい時って、いつの事ですか。もうそんな時代じゃないんだから、古いんだよ、あなたの考えはさ。まったく、あの子がいたら、ちょっとは違ってたのかしらねえ……？

と、そこへ、ガラガラと音を立てて古い扉が開き、黒いスーツ姿の労働調査員、畑良が入ってくる。
あとに同じく調査員の木方が続く。

畑良 ごめんください！

木方 (ぼそぼそ) おじゃまします。

ため な、何よいきなり！もしかして、借金の取り立て!? 無理もないものはないんだから、逆さにして振ってもなーんも出ませんからね。あ、わかった！ お目当ては私!? 私のこの美貌ね？ 借金のカタに私をどっかの高級なお店に売り飛ばしてがっぼり稼ぐつもりなのね？

畑良 いやいやとんでもない。

ため だったらアイドル!? 私を人気アイドルに仕立てあげてコンサートとか握手会とかで寝る間もなく

働かせたあげくにお給料たったの数万円で、あとはみんな事務所で利益を吸い上げるといってブラックな芸能事務所なんですよ？ よしてよね、歌やダンスはそんなに自信ないから。

木方 歳考えましようよ。

ため (奥へ向って叫ぶ) ちよっとあんた！ 大変だよ！ こっち出てきてちよっくだい！

畑良 奥さん、私も別に取り立てに来たわけではないのですよ。

ため え、取り立てじゃないの？ だったら何さ？ あ、もしかして、お客さん!? それはそれはとんだ失礼いたしました。(奥へ向って叫ぶ) ちよっとあんた！

木方 それも違ってまして。

ため じゃあ一体何の用よ？ 今はやりの工場見学だったりして。でもうちそんなツアー開催してないしね、もしかしてうちの人か？ (奥に向って叫ぶ) ちよっとあんたー！

畑良 早押しクイズじゃないんですから、少し落ちつきましようよ奥さん。

ため じゃあ一体何なのよ!?

木方 (ためを椅子に導きながら) まずは一回そこ座って。深呼吸して。水一杯飲んで。

ため (ぐびぐび) あれ、あなた何処かで……。

畑良 よおく聞いてください。いいですか？ 私共は、奥さんの想像するような怪しい者と違いましたね、しかるべき筋から参りましたのですよ。

ため は、はあ……。

畑良 厚労省って、わかります？ 厚生労働省。私共は、厚生労働省から労働力実態調査のために今日うかがった次第なのです。私は調査員の畑良と申します。

木方 同じく木方です。

ため 何でそんな役所がうちみたいになちっぽけな工場に？

畑良 「働き方改革」って言葉、聞いたことぐらいはありますよね。現在我々が推進している政策でございまして、法案を巡っては、「都合のいい数字しか出していない」だの「データの改ざん」だの、もうさんざん叩かれました。これでは税金を納めている国民に顔向けできないということで、威信をかけて再調査に着手したと、ま、そういうことなのですよ。

木方 ですよ。

畑良 ご協力願えますかな？

ため あ、は、はい、そりやもう、そういうことでしたら、私にできることなら何でも……。

畑良 先程、御事業所前にてお声かけしようかと門前に立った折に、ちらと聞いてしまったのですが、二十四時間働きづめとか何とか、それが、こちらの労働実態と受け取ってもよいのでしょうか？

ため そらまあ言葉の綾ってもんだけどね、結局のところあんたら、主婦の家事つうか労働ってもんまで真面目に考えちゃくれないじゃないのよ。うちみたいに自営で昼間工場で働いて朝晩は家事やってっていう、私みたいな人間の苦労ってもんをさ、考えてくれたっていいんじゃないかしらねえ。

木方 過重労働、ということですか？

ため 過重も過重。しかも情けないのは、それを旦那がちっとも理解してくれないってことさね。

そこへ、鍛造が井飯を手に登場。

鍛造 さつきからうるせえんだよ、ため！何一人で興奮して奇声発してんだ！こちとら食事中だったのによ！にしてもこらほんとに回鍋肉なのかい？ ほぼ100%キャベツじゃねえか。

ため すいませんね！ 誰かさんの稼ぎが少なくて肉が買えないんです！ そんなことより、お客さんだよ。（畑良と木方を指しつつ） ほしい、厚労省。

鍛造 ほしいこうろう、しよう？

畑良 ほしい要らないです。厚労省。私は、労働実態調査員の畑良という者です。こっちは部下の木方で。

鍛造 労働実態調査だあ？

ため だってさ。（畑良にこっそり） 気をつけた方がいいよ、うちの人、役人ギライだから。

鍛造 お前、なんか余計な事喋ったんじゃないだろな!?

ため なーんにも。

畑良 ほう。何か喋られては困ることもおありになるとか。

鍛造 なんにもねえよ！

木方 お食事中ということは、こちらは今、お昼休みということですか？ だいぶ早いようですが。

鍛造 いいじゃねえかよ、ヒマなんだから、いつ飯にしたって。あれ、お前どっかで……？

木方 人違いでしょう。

畑良 昼休みは、規定にのっとって、しかるべき時刻にしかるべき長さが取得されているのですか？

鍛造 規定もなんも、俺が社長なんだから、好きな時に食事して悪いことあるかい？

畑良 いやいや、そこはきちんと従業員に周知の上で行われたいとなると、これは問題ですよ。社長の気分です。分でいつ食事がとれるのかもわからない状況の中で、労働者が意欲をもって働けるものか私には疑問です。

ね。労働基準法に抵触する恐れがありますよ。

木方 そもそも勤務時間は、きちんと守られているのですかね？

鍛造 まあそう堅いこと言いなさんな。良かったらあんたらも食べるかい？ 残りもんだけどな。

畑良 もしかしてそれは接待ということですか!? 食事を与えて有利な回答を引き出そうという魂胆なのですか？

木方 買収ですね。

鍛造 客が来て、腹減ってたら飯ぐらい出しますってうちは。そら人として当然のこったろ。

ため よしなって、この人たちお役人なんだから。零細自営業のアウトな労働感覚なんて通用しないよ。

鍛造 たく、これだから役人は好きじゃねえんだ。何でもかんでも規則だの規制だのって。型にはめるのはネジだけで充分だ！

畑良 あいにく私共は仕事中です。立場上ご馳走になる訳にはいかないのですよ。調査に手心を加えると思われても心外です。現にこちらの従業員の方からは、不当に長い労働時間をほめかす証言すら得ているのですから。

鍛造 こいつがそんなこと言ったんですかい？ 工場長が!?

木方 工場長？

鍛造 こいつは俺の連れ合いだがね、仕事上はかっこつかないから一応俺が社長でこいつは工場長ってことにしてあるんだよ、外向きにはな。

畑良 なるほど。名ばかりの管理職。管理職だから、不当に長く働かせても、残業代を支払うには及ばない、とそういう理屈ですか。

ため 残業代どころか、月々のお給料だってまともにもらったことありやしない。

畑良 何ですと!?

木方 それは事実ですか？

鍛造 だってそら夫婦なんだからよ、もう何十年もそれでやってきてるの！それを何だいあんたら、さつきから規則だの時間だの給料だのって、何でもかんでもきっちり数字にしないと気が済まないのかよ!？
そーんな細かい数字方々で聞き回って、額に汗して物を作るでもなく、それで大層なお給料もらってんだろどうせ。寄生虫みたいなもんじゃねえか！

畑良 いやあ、これは手厳しい。しかし、私共のこういった地道な誠心誠意の努力こそが、社会全体の進化につながるという側面もあるということをご理解いただきたいものです。

鍛造 ああ言えばこう言う、調査員サマは口が減らないねえ。理屈じゃかなわねえ。

畑良 ちなみに、他の従業員の方は？

鍛造 またやなこと聞くなあ……。景気のいい頃は工員も何人もいたけどな、今はみんな辞めちまってこの通りだよ。

ため それでも数年前までは一人いたんだけどね……。

鍛造 やめねえかその話は！

ため ……。

畑良 なるほど。従業員数はゼロ。今は御主人、いやさ社長と、それと工場長のお二人のみで稼働している、と。

と、そこへ扉が勢いよく開いて、セーラー服姿の玲愛が駆け込んでくる。

玲愛 たっだいまー。テストやっと終わった！ さあ仕事仕事。ちょっと旋盤使うよ！ あとドリルもね！ ツナギツナギ。私のツナギはっと。もうスカートとかやめて欲しいなあ。まじ面倒なんですけど、早く脱ぎたい！

玲愛、勢いよくロッカーから自分のツナギを取り出すと、そのまま両足を突っ込み、スカートを落とす。さらに上着も脱ごうとして、セーラーのスカーフを乱暴に投げ捨て、慌ててために制止される。

鍛造 馬鹿野郎、こんなところで脱ぐんじゃないって、いつも言ってるだろ！

ため ほら、今来客中なんだから、着替えなら奥でやって。ね。

玲愛 えー!? そんならそうと早く言ってよね！

玲愛、慌てて奥へと消える。

畑良 いるじゃないですか、従業員。(玲愛の着替え時間を稼ぐためにムダに長く喋る) しかも、こんな中途半端な時間に堂々と出勤してくるということは、これはもしかして、都市部の通勤ラッシュの軽減に効果があると期待されているもの、自治体主導で一部の大手企業でしか導入が進まない「時差BIZ」ではないですか。まさかこんなチンケな零細町工場で導入されていようとは、私、夢にも思いませんでしたし

たー！

鍛造 何言ってやがる。玲愛はまだ高校生だぞ。

木方 バイト従業員ということですかね。

ため 違うのよ。玲愛はうちの娘で……。

畑良 でも仕事仕事って言ってましたよ、さっきの方。

玲愛 (着替えを終えて登場) あーやっぱこの方が落ち着くわ！ 工業高校なんだから別に制服スカート

じゃなくてもいいってのに、てかもうはなからツナギで良くね？ にしてもうちにお客さんなんて珍しい

ね。どしたの、注文？

ため だったら良かったんだけどね……。

畑良 はじめまして。私共は、厚生労働省の者です。

鍛造 だよ。

ため ほら、あんたも御挨拶くらいなさいな。

玲愛 どうも。目多留玲愛です。よくわかんないけど、父と母がお世話になります。今は現役バリバリの

工業高校生。じきここの看板娘になる予定の筋金入りの工業女子っす。よろしく！

ため なんだいその挨拶は。

畑良 なるほど。実は、今日は労働実態調査でこちらを訪れておりました。

玲愛 (二人をちらと見て) ふーん。そんなヒマがあるなら、うちみたいな工場がもちっと楽になるよう

なこと考えて欲しいもんだけどね。

木方 ですから、そのための調査だと。

玲愛、あれこれと材料を物色すると、旋盤に向かい、何やら作業を始める。

玲愛 よし、こんなもんでいいか！

ため そんなことだろうと思ってね、はいあなたにぴったりドリル。(と、玲愛の背後から漢字ドリルを差し出す)

玲愛 (後ろ手に見もせず受け取り) 気が利くね！ て、ドリル違い！ 鉄工場漢字ドリルやるバカがいるか！ 穴開けるほうのドリル！(とドリルをつかみ) じゃやるぞー。

ため

畑良 失礼ながら、お嬢さんは、こちらで働かれていますか？

玲愛 働くって、忙しければ手伝いくらいはするけどね、最近はそれも滅多にないねー。

木方 正当な対価は支払われていますか。

玲愛 そりゃただの手伝いだし、私なんかまだその域に達してないからね。今は修行中の身ってとこだよ。

ため また学校の宿題かい？たまには国語とか数学とかのお勉強もした方がいいと思うけどねえ。今度は何を作ろうっての？

玲愛 ちょっとピアスでもやろうかな、って。

鍛造 ピアス!?

ため そうかいそうかい。あんたもその年になってようやくファッションとかそっち方面に目覚めたってことかねえ。母さん嬉しいよ。いつもツナギで油まみれの手をして恋だのファッションだのにはまるで無

関心だとばかり思ってたけど、さすがにもうじき十八だものね……。

鍛造 ああ機械にしか興味なかった玲愛がなあ。

ため て、まさかあんだ、そのドリルでピアス開けるつもりじゃないでしょうね!?

玲愛 は、何言ってるの？ 私じゃないよ。友達の誕生日プレゼント。「何がいい？」って訊いたら、ピアスって言うからさ、だったら玲愛ちゃんオリジナルのピアスを一から削り出してあげましょう、って魂胆よ。

ため え、そうなの？ピアスなんて言うからってつきり耳に穴開けるもんかと……。

玲愛 何でそんな面倒なことしなくちゃならないのよ。耳に穴開けてるヒマあったら鉄板に穴開けてる方がましに決まってるでしょ！

ため 母さんてつきり、あんだも高校卒業を目前にして女の子らしいおしゃれに目覚めたんじゃないかと期待したのに。

玲愛 そういうの良くわかんないけどさ、ここで生まれ育ったからね、機械が好きなんだよ、私。

ため やれやれ。高校も今年でしまいなんだから、そろそろ鉄板とかドリル卒業して、もっと別のこと考えてもいいと、母さんそう思うんだけどね。

玲愛 好きなんだって言うてるでしょ！またそんな話？やめてよ。……行かないからね、私。大学なんて。

ため ちよ、ちよっとさりげなく何大事なこと勝手に決めようとしてるんだよ。一生の問題だよ。

玲愛 前から決めてたんだよ。高校出たら、ここで働くって。

畑良 ほほう。お嬢さんは、こちらへの正式な就職を希望されていると？

ため 何バカなこと言ってるの!?!あんだだっとうちが今どういう状態かわかってるはずでしょ！

玲 愛 痛いほどわかってるからだよ。そりゃね、進学を勧めてくれるのは正直ありがたいと思う。でもそんなお金どこにあるの？奨学金もらって、苦勞して大学行って、卒業する頃に何百万も借金抱えるくらいなら、私は今すぐにも父さんと母さんの役に立ちたいの。即戦力になりたいんだよ。

鍛 造 お前の気持は尊重してやりてえとは思いますが、親としちゃあよ、お前のためなら、ちよつとやそつとの苦勞は……。

玲 愛 柄じゃないし、頭もないんだよ。自慢じゃないけど、こちらら小学生の漢字ドリルからやり直すよ
うな学力だよ！ 背伸びして大学進学なんて目指したってさ、結局あいつみたいに挫折して、しまいにや
いなくなるのがオチじゃないか！

鍛 造 玲愛、よさねえかその話は！

玲 愛 だって……。

木 方 お二人とも、とにかく少し冷静になりましょう。

畑 良 よろしければ、事情をお聞かせ願えますか？

た め いえね、従業員が一人だけ残ってたって言ったじゃないですか。それ、この子と、少し年の離れた兄のことなんでして。息子は、巧人は、玲愛と同じ工業高校を出て、卒業後当然のようにうちの工場で働き始めたんです。その頃はまだ仕事もあったし、まあ自転車操業ではありましたがね、何とかやってたんですけど。時代の流れですかね、じきに仕事も減って、ネジも売れ残るようになり、ヒマになってくる
と巧人は、「これからは町工場なんてやってても駄目だ」と言い出しまして。

鍛 造 それであいつは突然大学行くなるとほざきやがった。身の程知らずにも官僚になるとか言って。もつと日本の中枢にいかないとこの事態は打開できねえなんて夢みたいなこと言ってよ。

畑良 それで、ご子息は？

ため そんな付け焼き刃の勉強が身につくわけもなく、受験には失敗しました、うちに資金がないことも知ってましたし、有名国立大学だけ受けたのもミスチョイスだったんだと。それから、工場に出ることもなく、部屋に閉じこもりがちになり……。

鍛造 で、気がついたらいつの間にかいなくなっちゃってた。

ため 今はどこでどうしているのやら、元気でやっててくれりゃいいんだけどね……。

木方 ……。

鍛造 もうあいつのことは忘れろって言ったろ。うちにはせがれなんていないんだよ！

玲愛 私はどこにも行かないからね！ 大学にも行かない。ずっと、ずっとここにいるんだ。高校卒業したらここで働くの。

ため 玲愛、何もあんたがこんな将来性のない工場にしがみつくことないんだよ。あんたはあんたの幸せだけ考えてくれていいんだから。

玲愛 私だって考えたよ。猛勉強して大学の工学部とか入って、マサチューセッツ工科大学に四年で留学して、あっちで博士号とか取得して、ITベンチャーで有名になって、タワーマンションの最上階に新居構えて、長者番付の上位にランクインする未来とかって。でもそんなの嫌なの。

木方 その前に実現可能な未来なのかどうか考えてみた方がいいとは思いますがね。

玲愛 うるさいな！ お前は引っ込んでろ！ そんなことちょっと考えたら私にだってわかる。それでも私はこの工場が好きなの。ここでネジの山に囲まれていたい。ドリルの回る音聞きたいの。だからここでもっと腕磨いて、この工場継ぐんだ！ 私にしか、ここでしか作れない、既成概念を覆すようなす

んごいネジ発明して、特許とって、大手企業と安定した契約を得て工場立て直すんだ。それが私の夢なの。
ため 玲愛……。

玲 愛 わかっている。恋もしたい。結婚もしたい。子どもだって欲しい。工場継いだはいいけど後継者がいなくて私の代で閉鎖なんてかつこつかないもんね。でもそれは後の楽しみにとっとく。

鍛 造 お前がそんな苦勞一人で背負わなくてもよ、医者でもアスリートでも何でもいい男見つけて嫁に行ってくれていいんだぞ。

玲 愛 ここに就職したら、そんな出会い期待できないって。

鍛 造 余計なお世話だ！うちだって昔は政治家が視察に来たことぐれえ有るんだぞ！

玲 愛 私はね、父さんの作るネジが好きなの。それを受け継いで、守って、次の時代に伝えていきたいの。ネジはね、何でもつなぐんだよ。木でも、鉄板でも、プラスチックでも、異質なもの同士でも何でもくっつけちゃうんだ。何年も、何十年も。繋いで離れないんだ。こんなちっちゃなネジが頑張って、物と物、人と人とを繋いでいくんだ。それで、いつか私の技術とドリルで、この閉塞した世の中にでっかい風穴開けてやるっての。

鍛 造 ひよっこが聞いた風なこと言ってんじゃねえってんだよ！だがよ、お前の気持ちはわかった。

玲 愛 はい！ わかりました社長！ その節は、よろしくお願いします！

鍛 造 ため！

ため はいな。

鍛 造 食事はもうしまいだ。久しぶりに旋盤回してみっか。せっかく後継者が見つかったんだ、俺の代で

夜逃げとか工場閉鎖とかがって訳にやいかんだろ！

ため わかってますよ、井洗つとけてんでしょ。昔からそうでしたもんね。モノ作りに打ち込みだすと一直線。私のことなんかお構いなし。全く、人遣いが荒いんだから。

玲愛 私、そばで見てもいい？

鍛造 許す！（畑良と木方に）というわけだ。もういいだろう。ちょいと忙しくなるって。もう帰ってくんな。

畑良 そのようですね。とんだ長居をしてみました。では、そろそろお暇するとしますか。

木方 ネジも締めすぎではせつかくの素材を壊してしまう。どうかそのことだけはお忘れなく。

鍛造 そんなこと、おめえに言われなかったって、百も承知なんだよ！

畑良 最後に一枚だけ、記録写真を撮らせていただいてよろしいでしょうか。

鍛造 かまわねえけどよ、とっとと済ませてくれよな。

畑良 では社長さんと工場長さんとそちらに並んで、あ、就職が内定したということで、お嬢さんも一緒に。
緒に。

ため え、そんな私お化粧もしてないし……。そんならそうと先に言ってもらわないと困るんですけど……！

玲愛 （ための手をとり）いいからいいから。工場女子は機械油がファンデーションだよ。

畑良 それでは記録写真ではなくて記念写真になってしまいますよ。（木方に）ほら、ちゃんと調査に来たという証拠のために、君も入って。

木方 え、僕も？

畑 良 早くしてください。じゃ、撮りますよ。

四人並んだところで、畑良、スマホで写真を一枚撮影する。鍛造、ため、玲愛の三人が静止する中、木方のみ動き出し、畑良のもとに歩み寄る。

木 方 ありがとうございます、先生。

畑 良 これで気は済みましたか、巧人くん？

木 方（巧人） 済んだというか、むしろ済まない気持ちで一杯になりました。

畑 良 何なら、このまま残ってもいいんですよ。

巧 人 無理ですよ、そんなの。今の僕があの家に戻ったって、何もできはしませんから。結局僕は、官僚機構という大きなシステムの中の小さな歯車の一つにすらなれなかった身です。でも、たとえ演技でも、たとえ一時だけでも、帰省できてほんとに良かった。これもみんな、先生のおかげです。

畑 良 苦しんでいる人の支えになるのが、私の仕事ですから。

巧 人 先生は、大学受験に失敗して、^や自棄になって自ら命を絶とうとまで思い詰めた僕を救ってくれた。本当に感謝してます。にしても、先生、ほんと役者ですよね。

畑 良 我々の世界でも、SSTやらロールプレイなどといった手法がありましたね。商売柄、こういうスキルも多少は心得ているだけです。

巧 人 こんな僕のがままにつきあってもらって、本当に感謝しています。

畑 良 そう感じてくれるなら、早く胸張って帰れるようになりませんか。では、行きますか？

巧人 はい、僕もがんばります。

畑良、スマホのボタンを一度押すと、それを懐に入れ、歩きだす。巧人もあとに続く。二人退場。
そして、静止していた三人が動き出す。

鍛造 よく見とけよ、玲愛！ 旋盤ちゅうのはだな……。

ため 適当につきあっとけばいいんだよ、機械のこと話し出すと長いんだからね。

玲愛 はーい。あ、ちよっと待って！（尻ポケットからスマホを取り出しディスプレイを見る）画像届いた！

ため 友達かい？

鍛造 お前、「裸の画像送って」とか、そんなんやってないだろうな？

玲愛 違いますって！ さっき撮ったばかりの家族写真だよ。

ため さっきのって、あんたいつの間にアドレス交換してたのよ？

鍛造 何だ！？ さっきの調査員だあ！？ お前らいつの間にそんな深い仲に！

玲愛 それはヒミツ！ もう一回DVDをよく見返して、どこで私と畑良さんがふるふるしてるか、確かめてみよう！

ここで終わってよいのですが、あとはあってもなくてもいい冗談みたいな続き。

ため この舞台のDVDは、受付で販売してまーす！

鍛造 一枚千円ととってもお買い得だ。ぜひ買って帰れ。

畑良 (巧人と共に登場) いやいや嘘です。売ってないです。

玲愛 え、ないのー!?

畑良 これにておしまいっす。本日はどうも、

一同 ありがとうございます！

しよーもない宣伝はそこそこにして、一同、礼。やがて溶暗。

幕